

月刊

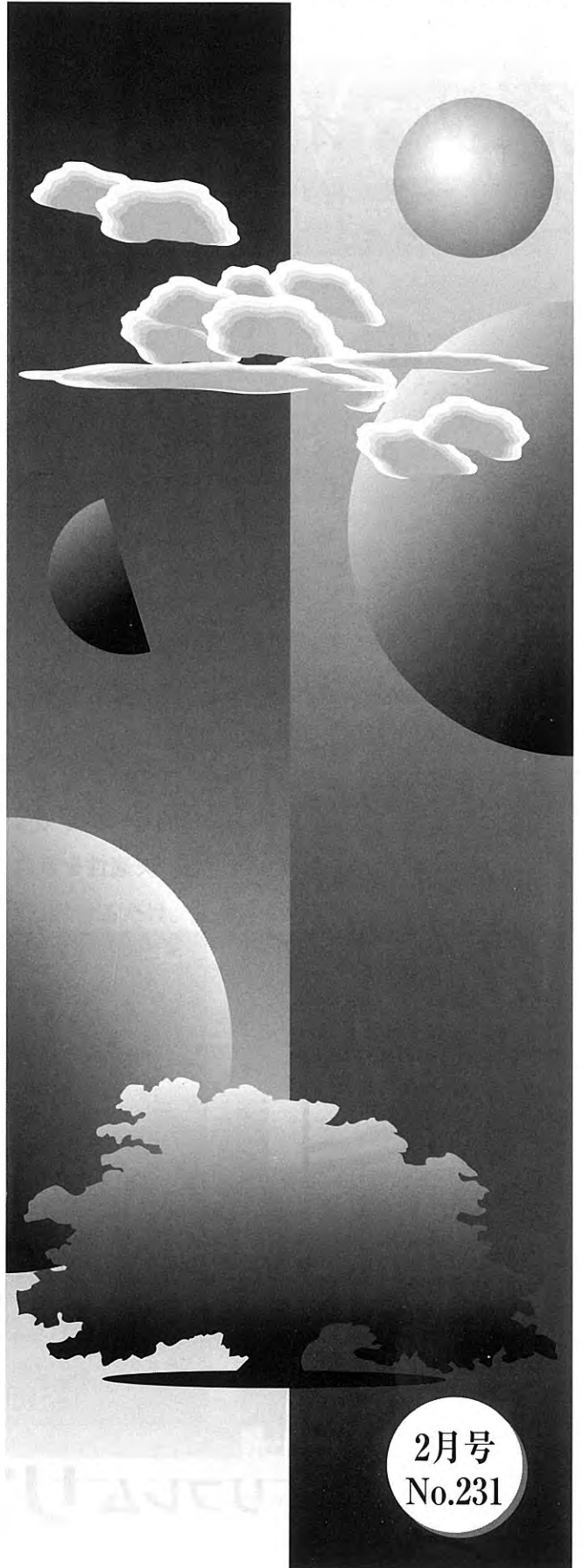
# 建材

# ナビ

特集 リモコン電動タイプを軸に高機能商品の  
拡大に挑むスクリーン型・スリット型・  
ブラインド型窓シャッター

商品群

〈窓・ドア／エクステリア〉  
〈医療・商業施設・ビル〉



2月号  
No.231

ミルト出版会  
〒182-0023 東京都調布市染地3-1-87  
ト-1-407号  
☎042-484-4507  
FAX 042-484-4509  
発行人 堤 祥行  
年間購読料 30,000円(送料・税込)

## 建材 navi 2月号-No.231 目次

<b>特集</b>	リモコン電動タイプを軸に高機能商品の拡大に挑むスクリーン型・スリット型・ブラインド型窓シャッター	6
<b>特集</b>	2018年期待の環境・リフォーム商品群 ＜窓・ドア／エクステリア＞ ＜医療・商業施設・ビル用＞	11 14
	<b>【環境・健康建材コーナー】</b>	3
	<b>【新製品・新技術情報／業界の動き】</b>	17


© Miruto Shuppankai Ltd.2017 無断転載・コピーを禁ず

### 建材市場動向、環境・健康・景観建材情報をお手元に!!

FAX:042-484-4509までお申し込みください

キリトリ

月刊「建材navi」購読申込書

月刊「建材navi」を平成30年(2018年) <input type="text"/> 号(月号)より1年間購読します。 (年間購読料/送料・税込30,000円)				
貴社名		部署	ご芳名	印
送付先				
			FAX	

## 【環境・健康建材コーナー】

LIXIL

短辺 826 mmの新サイズでどんな屋根形状でも大容量搭載を実現できる新ソーラーパネル「Gシリーズ」



LIXIL(瀬戸欣哉社長)は、短辺 826 mmの新サイズでどんな屋根形状でも大容量搭載を実現できる新ソーラーパネル「Gシリーズ」の受注を2月1日開始した。

「Gシリーズ」の標準サイズ(Fサイズ 250 W)の短辺を 826mmとし、Fサイズの約 80%の大きさのSサイズと組み合わせることで、狭小住宅や複合屋根など積載量が重視される物件においても大容量設置を可能とする新ソーラーパネル。

高い発電効率を実現するために、パネルにはセル内部に形成されるパッシベーション膜によって光を反射させる新技術を用いた単結晶PERCセルを採用し、モジュール変換効率 18.48%を実現している。

アルミ架台「ソーラーラック」使用のソーラーパネル「Gシリーズ」セット価格:3段6列ソーラーパネル 18枚Fサイズ、出力 4.5 kW、パワーコンディショナで 271万 5000円。

### 元旦ビューティ工業

防水機能保持「断熱バックアップ材」採用の住宅横葺き屋根「断熱ビューティルーフ2型」新開発

元旦ビューティ工業(船木亮亮社長)は、高断熱・高強度・高防

水・高耐久・強耐震の住宅横葺き金属屋根「断熱ビューティルーフ2型」を新開発し、同社の施工ネットワーク「全国元旦会」に限定せず、工務店・工事店など一般流通ルートへの製品供給を開始した。



「断熱ビューティルーフ2型」は、防水機能をもつ「断熱バックアップ材」を採用した点が従来品との大きな違い。

新採用の「断熱バックアップ材」は、それ自体に防水機能があり、先行して施工することで施工中の雨養生や下葺材の飛散防止効果が見込める。これは結露水や万一侵入した雨水を排出する凹凸の表面加工されていることによる。またビスを固定する場所も示されているが、そこには雨水が寄らない表面形状を採用した。

こうした優れた防水機能をもつ「断熱バックアップ材」が、ハゼ内部まで入り込むことによって、ハゼ部の強度と断熱性、防水性を高め、これまでにない高断熱・高強度・高防水・高耐久・強耐震の住宅用横葺き屋根構造を実現する。

製品本体は、あいじゃくり加工で重なり部(二重になるハゼ構造)が密着し、ズレがなく正確で簡単に施工できるように工夫

が凝らされているほか、断熱バックアップ材が屋根材に密着し、雨音を抑制する効果もある。継ぎ手カバー不要のすっきりした美しいデザイン性も特長。さらに新築向けだけでなく、スレート屋根や瓦屋根のリフォームにも定尺横葺き屋根として対応する。屋根規格(カラーガルバリウム鋼板 0.5mm厚、カラーアルミ 0.5mm厚)は、有効長さ 2275・4095mm(カラーアルミ 2275mmのみ)、有効幅 250mm、勾配 100分の20以上、長さ 1820mm。

「断熱ビューティルーフ2型」に加えて、シャープな軒先で美しい仕上がりで落ち葉や雪が入らない新設計の「元旦内樋」、自然の風力で屋根裏を換気し結露・カビの発生を予防し熱や湿気から木材を守る「住宅換気棟」をトータルに提案し、現在、販売全体の10%程度にとどまる一般住宅向けの販売比率を高めていく方針。

LIXIL

### 「冬のあったかリフォームキャンペーン」の応募締切 4月15日

LIXIL(瀬戸欣哉社長)は、3月31日まで「LIXIL冬のあったかリフォームキャンペーン」を開催中。

対象商品のリフォーム工事を実施し、応募した方の中から抽選で 450名に、ダイソン「空気清浄機能付ファンヒート」などの賞品をプレゼントするもの。応募締切りは 4月15日(日)。

対象商品は、防音・断熱内窓「インプラス」「インプラスウッド」、取り替え窓「リプレムリプラス」「リプレムシリーズ」、リフォームドア「リシェントシリーズ」の各商品。



「環境ビジョン2030」の温室効果ガス削減目標「SBTイニシアチブ」により承認取得

LIXILグループは、同社の設定した温室効果ガス削減目標が、「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」により科学的根拠に基づいた削減目標として、世界の Building Products セクターの企業の中で初めて承認取得したと発表した。

LIXILグループは、2016年3月CR戦略を刷新、「グローバルな衛生課題の解決」「水の保全と環境保護」「多様性の尊重」の3つの重要課題に取り組んでいる。この戦略の一環として、「環境ビジョン2030」を設定し、2030年までに製品・サービスによる環境貢献が、事業活動による環境負荷を超える「環境負荷ネットゼロ」の実現をめざしている。

今回承認された目標は、事業活動による環境負荷を、2030年までに2015年度比で、スコープ1、2(自社で使用した燃料、電気に伴う温室効果ガス排出)30%削減、スコープ3(調達や製品の使用など、サプライチェーン上での温室効果ガス排出)15%削減をめざすもの。この目標達成に向けて、より一層の効率的なエネルギーの利用や再生エネルギーの導入、すぐれた環境性能を持った製品・サービス、ZEHの普及促進を実施していく。

三協アルミ

公共用大型フェンス・門扉「フレランドN」にリニューアルして発売

三協立山株式会社・三協アル

ミ社(中野敬司社長)は、公共用の大型フェンス・門扉「フレランド」を「フレランドN」にリニューアル発売した。

特長は、従来のたて目隠しタイプに「1型(横ルーバータイプ)」を追加したほか、「2型(たて目隠しタイプ)」に通風機能を付加した。また、フェンス本体の連結部に伸びやゆがみによる変形を抑えるすき間(3mm)を設けた。

さらに、傾斜+コーナーの3次元コーナー対応(フリー支柱納まりのみ)が可能となり、異型地の対応力をアップ。耐風圧性能V<sub>0</sub>=38m/s。最大高さ3000mmまで対応(特寸)。同意匠の門扉は、幅1100×高さ1500・2000mmを用意。カラー:サンシルバー・アーパングレー・ダークブロンズの3色。

カーポート人気No.1スタイリッシュな上吊り「U.スタイルII」

三協アルミ社は、昨年開催した「車庫No.1を決めろ!カーポートグランプリ」の結果を発表した。

投票総数は、3ヵ月で7万9270件。全8タイプの中のベスト3は、1位「U.スタイルII」(1万6466票)、スタイリッシュな上吊りタイプで幅広い敷地条件に対応可能なカーポート。2位「アトラード」(1万3451票)、デザイン性に優れ高級感のある4本柱タイプ。3位「G-1」(1万1385票)、耐積雪200cm相当の高強度カーポート。

以下、「M.シェード」(1万0425票)、「スカイリード」(9912票)、「エアロシェード」(6214票)、「カムフィエース」(5776票)、「ダ

ブルフェース」(5641票)の順。

昭和フロント

「ストアフロントコンクール」の応募締め切り2月19日(月)まで

昭和フロント(長谷川伸二社長)は、「第49回ストアフロントコンクール」の応募作品を募集中。締め切りは2月19日(月)。

募集部門と応募資格は、第1部店舗建築部門と第2部一般建築部門が作品にかかわった設計事務所・建設会社・販売加工店、第3部アイデア部門が作品の加工を行なった代理店。第1部第2部応募作品からグランプリ1作品、各部門の金賞・銀賞・銅賞それぞれ1作品、第3部の優秀賞1作品、優良賞2作品を選出する。

旭トステム外装

窯業外装材「ガーディナル Smart」/「AT-WALL PLUS」に新柄「ヴェリエ」追加発売

旭トステム外装(条生秀人社長)は、シーリングレスの新四辺合じゃくり工法を採用した窯業系外装材「AT-WALL」の「ガーディナル Smart」シリーズに、新柄「ヴェリエPZ」を追加、2月1日全国発売した。同時に、ハイパフォーマンスの「AT-WALL PLUS」シリーズにも同柄「ヴェリエP」を追加、発売した。

「ガーディナル Smart」は、セルフクリーニング機能と防藻・防カビ機能を合わせ持った「セルフフッ素コート・PLUS」を採用した「塗膜15年保証」がセールスポイント。

新柄「ヴェリエPZ」「ヴェリエP」は、ランダムな凹凸形状の石

積デザイン。ライトグレー、ホワイト、アイボリー、チャコールの4色。また、従来の「同質出隅」納まりに、「インナー出隅工法」「カバー出隅工法」を追加した。「インナー出隅工法」は、「出隅インナージョイナー」を用いることで、出隅部に目地や同質出隅がなくなり、より美しい仕上がりを実現、2016年度グッドデザイン賞を受賞している。

さらに、板途切れを少なくするため6尺から10尺に変更している。

クリナップ

伊・プレミアムキッチンブランド「Valcucine」ショールームオープン

クリナップ(佐藤茂社長)は昨年12月18日、東京・南青山に昨年9月取引契約を締結した、イタリアのプレミアムキッチンブランド「Valcucine(バルクッチーネ)」の国内初の専用ショールーム「Valcucine Tokyo」をオープンした。

イタリアのラグジュアリーブランドICG(イタリアンクリエーショングループ)のバルクッチーネは、富裕層向けの高いデザイン性、革新性、熟練の職人技、持続可能な環境に配慮したプレミアムキッチンブランドとして知られている。

今回、東京ショールームには、「GeniusLoc(ジーニアスロッチ)」2セット、「Artematica(アルテマイカ)」1セットがICGの高級家具・照明に彩られた空間に展示されている。

住所:東京都港区南青山4-1-12、電話03-3810-8223/営業時間:10時~17時(完全予約制)/定休日:土日・祝日(夏季・年末年始休業有)。

樹脂サッシ工業会

廃棄樹脂サッシや他工場内リサイクル材を色選別せずに使用した「リサイクル樹脂サッシ」製造・実際に取付けた実証試験を開始

樹脂サッシ工業会(中澤俊夫会長)は、塩ビ工業・環境協会(門倉護会長)と共同で取り組んでいる「塩ビサッシリサイクル合同ワーキンググループ」(委員長:清家剛東京大学大学院新領域創生科学研究科准教授)の活動の一環として、リサイクル樹脂サッシ「サッシtoサッシ」の製造及び実際の建物への取り付けの実証試験を開始した。

日本で初めての今回の実証試験は、ワーキンググループが1999年から取り組んでいる樹脂サッシのリサイクルシステムの完成と、リサイクル樹脂サッシが既存の樹脂サッシと変わらない品質であることを証明し、安心してリサイクル樹脂を使用することを訴求するもの。

これまででもリサイクルの取り組みとして、製造時に発生する工場内リサイクル材のみを色選別したうえで粉碎処理を行ない、サッシと同色の粉碎材料のみを少量混入させたバージン材料を使用した樹脂サッシ用形材を一部製造している。この従来技術では、工場内リサイクル材のみかつ色選別しなければ樹脂サッシとして使用できないという制限があった。

これに対して今回のリサイクル技術(エクセルシャノン特許技術)は、解体現場から排出されるあらゆる廃棄樹脂サッシや他工場内リサイクル材を、色選別せずに粉碎処理し、樹脂サッシ用形材の内部に混入させ成形す



上...リサイクル樹脂サッシ施行中

リサイクル樹脂用形材

ることを可能にするもの。

今回この技術を応用し、廃棄窓リサイクル材・他社工場リサイクル材にバージン材料(表層)を加えリサイクル樹脂サッシ用形材として製造した。施工されたりサイクル樹脂サッシの構造は、框にリサイクル樹脂サッシ用形材、枠は既存枠を使用、アルゴンガス封入複層ガラスの高断熱仕様。リサイクル材活用部分の混合比率は、廃棄窓リサイクル材6%、他社工場リサイクル材24%、工場内リサイクル材70%の割合。

施工現場は、大信工業札幌営業所(札幌市手稲区)、1階2箇所と2階6箇所の窓障子をリサイクル樹脂サッシに交換した。表層材はバージン材料を使用しているので通常の樹脂サッシと耐候性能は変わらないが、内部に使用した廃棄窓リサイクル材がどのような影響を受けるか、経過観察していく計画。

# リモコン電動タイプを軸に高機能商品の拡大に挑む スクリーン型・スリット型・ブラインド型窓シャッター

**住宅用窓シャッター全国平均取付率約60%、採用地域の較差は変わらず都市部、台風通過地域に集中**

2020年省エネ基準適合住宅の義務化、2030年ZEH標準化が迫る中で、住宅用高断熱窓・サッシの拡販が進められている。開口部の高断熱化と共に、快適な室内環境を創造する窓まわり商品にも注目が集まっている。

その代表的な開口部商品が、暴風雨対策、防犯対策、さらに防火対策に有効な「住宅用窓シャッター」。住宅外観スタイルの和風から洋風への変化にともない「横引雨戸」に代わる定番の開口部商品となった。

日本サッシ協会の調査によると、窓シャッター取付率は全国平均約60%に達している。ただ、窓シャッターの採用は、近畿圏約86%、関東圏約80%、九州圏約72%に対して、北陸圏・北海道圏僅少、東北圏約5%、中国圏約13%、四国圏約27%と、地域によって大きな違いがある。

採用率の低い地域は、従来から積雪地域や温暖地域といわれ今も変わらない。こうした地域向けには、窓シャッターの暴風雨対策や防犯対策だけではこれ以上の需要喚起に無理がありそうだ。防火対策として都市部で取付率の上昇が見られたが一過性の動きであった。

こうしたことから需要喚起には、新たな視点が求められているようだ。リモコン電動による利便性のアップ、採風・採光コントロール機能による快適な室内空間の創造、さらにはIoTを活用した安心・安全、セキュリティ対策など、質の高い住環境を創造できる開口部商品として、その認知度を高めることが必要とされている。

いま窓シャッター市場には、スチール製スクリーンタイプ、採風・採光機能をもつスリットタイプとブラインドタイプが出まわっている。

その一方、「横引雨戸」は、三協立山、三和シャッター工業、文化シャッター、LIXIL、YKKAPの5社が扱っているが、2016年度販売総数は約60万枚と減少の一途を辿っている。その主なニーズは、リフォーム向けといわれている。今後も「横引雨戸」はリフォーム需要を中心に展開される。主

要なマーケットである都市部では狭小住宅が増えており、新築住宅では「横引雨戸」の減少がづくと思われる。

2016年度「横引雨戸」のメーカー別販売数は、LIXIL約35万枚、YKKAP約15万枚、三協立山約7万5000枚、三和シャッター工業約1万6500枚と推定される。

**2016年度窓シャッター販売台数(大手5社)約144万3600台と減少気味、電動タイプの拡大テーマ**

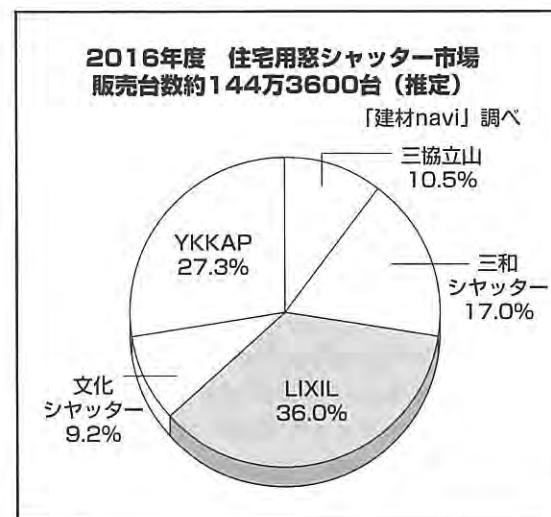
2016年度住宅用窓シャッター販売台数(大手5社)は、約144万3600台と推定される。若干減少気味といえる。5社とも、スチール製スラットのスクリーンタイプ(カーテンタイプ)を主力アイテムに展開する。

シャッター一体枠タイプの発売以来、三協立山、LIXIL、YKKAPの3社が主導権を握っている。ただ、三和シャッター工業、文化シャッターの2社がシャッター専門企業としての技術力、施工・メンテナンス力を活かして、電動窓シャッターのような高機能商品分野で大きな影響力を發揮している。それは電動窓シャッターの販売台数が2社とも25%を占め、さらに拡大していることに表れている。その中でも注目すべきは、HEMSと連携した電動窓シャッターの動きである。文化シャッターが先行しているが、いまでは当たり前のように使われているスマホで、屋外から窓シャッターの開閉をコントロールできる機能への関心が高まっている。窓シャッターのセキュリティ機能を一段と高める効果が期待できる。

\* \* \*

メーカー別の販売台数をみていく。LIXILが約52万台、シェア36.0%と市場をリードする。スリットタイプとブラインドタイプを融合した新構造「フラップスラット」採用の「エアリス電動」など高機能化に力を注いでいる。同時に、リフォーム専用仕様の「リフォームシャッター」を投入、新築・リフォームの両面から需要拡大に取り組んでいる。

YKKAPは約39万4400台、シェア27.3%と推定される。外付け電動ブラインド「X-BLIND



D」、アルミ製スリットタイプ、スチール製スタンダードタイプの3機種にリモコン電動を標準仕様とした。今後予想される新築住宅の減少に対応して、窓シャッターの高機能化、高付加価値化を進めている。

三和シャッター工業は約24万5000台、シェア17.0%と専門メーカーの強みを發揮している。スチール製スクリーンタイプはもとより、アルミ製スリットタイプ、アルミ製ルーバータイプまで、あらゆるタイプの豊富な商品構成力がセールスポイントのひとつ。とくに、シャッター一体枠を持たないだけに、後付タイプ、リフォーム需要の獲得に力を入れている。

三協立山は約15万2000台、シェア10.5%と推定される。シャッター付サッシ「メルフィーナ」のスチール手動・電動、スリット型のアルミ電動を展開する。今後、窓シャッターの暴風雨対策、防犯対策を活かして、電動タイプの取付率アップ、リフォーム比率の拡大に取り組む。

文化シャッターは約13万3000台、シェア9.2%と推定される。HEMSへの対応など電動タイプの拡大にとりわけ重点を置いている。すでにHEMSと連携し、宅外からスマホによって電動窓シャッターの状況確認や開閉操作が可能なシステムを構築している。

\* \* \*

窓シャッターの高機能化・高付加価値化の目安のひとつである電動タイプの取付率は、三和シャ

ター工業、文化シャッターが販売全体の約25%、三協立山、LIXIL、YKKAPが15%~10%程度にとどまっている。1棟あたりの窓シャッター採用数が1階リビングを中心に4セットと想定すると、大きなテラス戸への電動タイプ採用を必須とすれば、最低でも電動化率25%は期待できる。

住宅用窓シャッターの内、高機能商品のスリット型アルミ電動シャッターは、約1万4300台と推定される。また、ブラインド型電動シャッター1300台を加えても1万5600台にとどまり、窓シャッター全体の1%にも満たない。窓シャッターの電動化は、スチール製スクリーンタイプ電動を中心に展開されている。今後、高断熱化による快適な室内空間づくりへの関心が高まるにつれて、窓シャッターの高機能化の進展が期待される。

## 三協立山

**シャッター付サッシ「メルフィーナ」スチール手動タイプを主力に新築住宅向け窓シャッターの拡販を進める**

【商品構成】■一般窓用シャッター(スチール製スラット)——◆シャッター付サッシ「メルフィーナ」スチール手動・電動タイプ:普及タイプ。電動タイプにスイッチ操作タイプと電波リモコンタイプ。◆シャッター付サッシ「ラクフィーナ」簡易電動タイプ:廉価タイプ。操作棒によりブラインド感覚で簡単操作が可能。

■スリット型電動シャッター(アルミ製スラット)——◆シャッター付サッシ「メルフィーナ」アルミ電動タイプ:スイッチやリモコン操作で採光・通風が可能。

【現況】窓シャッターと横引雨戸の販売比率は80対20と、住宅の洋風化と共に窓シャッターを使うケースが増えている。横引雨戸(一体枠・後付タイプ)は、年々減少傾向にあり、既存雨戸の取替え需要への対応を強化する。

窓シャッターと横引雨戸の後付タイプのほとんどがリフォーム向けと想定すると、横引雨戸のリフォーム向けは22%、窓シャッターは4%と推定する。

窓シャッターの販売傾向は、サッシ一体枠タイプ96%、後付タイプ4%と新築住宅向けが圧倒的に多い。1棟あたりの平均採用数は2セット、1階リビングへの採用が一般的だ。採用地域は、太平



洋側および都市部におおく、台風による強風・飛来物から窓を守ることや防犯を目的にしている。

また、高付加価値化のテーマである電動タイプは販売全体の約10%程度。高機能商品のスリット型は、省エネ対応商品として需要が見込めるが、価格低減が課題となっている。

### 三和シャッター工業

#### 雨戸改修用電動窓シャッター「マドモアプラス」、戸袋を残したままで電動窓シャッターの取り付け可能

【商品構成】■新商品——◆雨戸改修用電動窓シャッター「マドモアプラス」：従来の窓シャッターの枠部分の改良により、既設の雨戸レール、戸袋を残したままで電動窓シャッターの取り付けができる点が特長。これより工期を短縮、費用を抑えることができる。「スクリーンSタイプ」のスクリーンタイプ9色、換気タイプ（シャッター下部に換気孔スラット配置）8色、通風採光タイプ（スラット間に通気孔を設置）9色を用意。リモコン操作標準仕様。

■住宅用窓シャッター「マドモア」体系——◆「マドモアブラインド」：通風と採光を自由にコントロールできるアルミ材製ブラインドタイプ。電動タイプと手動タイプを用意。◆「マドモアスリットS」「マドモアスリットW」「マドモアスリットW（防犯仕様）」：ウレタン充填アルミロールフォーミング製スラット採用のスリット型。

◆「マドモアスクリーンS」「マドモアスクリーンS（防火仕様）」／（メッシュスクリーン内蔵仕様）／（換気タイプ）：サッシ枠最大出寸法（網戸含む）85mmまで対応。スチールロールフォーミング製スラット。換気タイプにアルミ材製も用意。電動タイプ・手動タイプ。◆「マドモアスクリーンGII」「マドモアスクリーンGII（防火仕様）」／（換気タイプ）：サッシ枠最大出寸法（網戸含む）42mmまで対応。レールの出幅が小さくすっきりとした納まり。電動タイプ・手動タイプ。◆「マドモアチェンジ」：既設窓シャッターの手動シャフトを電動シャフトに取り替えるだけで電動タイプに交換。工事は約2時間。リモコン標準装備、障害物検知装置標準装備。

◆電動窓シャッター「マドモア」HEMS仕様：パナソニックの「スマートHEMS」と連携。対象商品は、「マドモア」のブラインド電動タイプ。スリッ

トW・スリットW防犯仕様、スクリーンS電動タイプの非常開放レバーなし／防火仕様／喚起タイプ。スクリーンGII電動タイプ／防火仕様／換気タイプ。モニター画面の閉・停・半開・開ボタンをタッチ操作。ブラインドタイプでは、HEMSによるブラインド角度調整（6段階）に対応。起床時・就寝時などの自動開閉するタイマー設定にも対応。3月から気象警報と連動して自動的に閉鎖する機能が追加される。

【現況】住宅用窓シャッター「マドモア」シリーズの豊富なバリエーションがセールスポイント。スチール製スラットのスクリーンタイプ（手動・電動タイプ）、アルミ製スラットのスリットタイプ（電動タイプ）、ブラインドタイプ（電動・手動タイプ）を品揃え。さらに、手動シャフトを電動シャフトに取り替える「マドモアチェンジ」、「マドモア」HEMS仕様なども展開する。

窓シャッターの販売傾向は、1棟あたりの取付け台数は3台～4台。手動スクリーンタイプが圧倒的におおい。スクリーンタイプ、スリットタイプ、ブラインドタイプを含めた電動タイプの販売比率は約25%程度。

スリットタイプが震災時の省エネ志向の高まりに応じて実績を伸ばしていたが、ここ数年は減少傾向がつついている。今後、省エネ対策、HEMS対応などを強める中で電動タイプの拡大を追求していく。

### 文化シャッター

#### 「マドマスター・スマートタイプ」にパナソニックのHEMS気象警報と連動する自動閉鎖機能を追加

【商品構成】■新商品——◆電動窓シャッター「マドマスター・スマートタイプ」（外出先からスマートフォンで操作できる電動窓シャッター）：電動窓シャッター「マドマスター・スマートタイプ」に、パナソニック製「スマートHEMS」のバージョンアップによる気象警報と連動し、警報発令後に窓シャッターが自動で閉まる機能が追加された。対応機種：「マドマスターリード スタンダードモデル」／「マドマスター 換気・採光モデル」／「ブレイユBモデル」（オイルレスECOより技術供与を受けて開発）。

■「マドマスター・スマートタイプ」——◆HEM

Sの標準通信規格・ECHONET Liteに準拠した電動窓シャッター。2015年パナソニック製「スマートHEMS」と連携、2016年スマートフォンを使って宅外から窓シャッターを操作できるサービスを開始。2016年三菱電機製のHEMS「HM-ST03」、同じく東日本電信電話のHEMSサービス「フレッツ・ミルエネ」と連携している。

■「マドマスター」シリーズ——◆後付タイプ：「マドマスタータップ」換気・採光モデル（カラーアルミ製スラット）／パンチングモデル（カラー鋼板、アルミ材製パンチングスラット）／スタンダードモデル／防火設備仕様。◆先付タイプ：「マドマスターリード」換気・採光モデル（カラーアルミ製スラット）／パンチングモデル（カラー鋼板、アルミ材製パンチングスラット）／スタンダードモデル。◆「マドマスターワイド（換気・採光モデル）」／「マドマスターALC・RCリード（換気・採光モデル）」／「マドマスターALC・RCリード（スタンダードモデル）」／「マドマスタールーマ」（屋内用、アルミ材製ハイグレードモデル・カラー鋼板製スタンダードモデル）。◆リフォーム対応商品：雨戸後付電動窓シャッターリフォーム「ヨコタテ」（1日で電動窓シャッターにリニューアル）／電動化リフォーム「オートマンミニ」（自社の手動タイプを電動タイプに取り替える）。

【現況】HEMS対応の業界初の電動窓シャッター「マドマスター・スマートタイプ」を主力商品に、住宅用窓シャッターの高機能・高付加価値化をリードする。とくに、宅外から窓シャッターを遠隔制御できるサービスは、電動窓シャッターの浸透を後押しすると期待される。商品的にも、スタンダードタイプ、スリットタイプに加えて、外付ブラインド「ブレイユ」（ワイヤレス集中制御システム・セレコネクトによりスマートフォンで操作が可能）を発売し、バリエーションを強化した。

窓シャッターの販売傾向は、1棟あたりの取付け台数は4台～5台と推定。主力商品は、スチール製スタンダードタイプ。スリットタイプを含めた電動タイプは販売全体の25%程度。

また、リフォーム需要は、既設の横引雨戸を窓シャッターへ取り替える電動窓シャッター「ヨコタテ」と、手動窓シャッターを電動窓シャッターにリフォームする「オートマンミニ」で対応し、販売全体の25%まで高まりつつある。

LIXIL「リフォームシャッター」リフォーム専用の新設計モデルチェンジ、1窓あたり60分のスピード施工を実現



### LIXIL

#### 戸建住宅用「リフォームシャッター」、リフォーム専用仕様の新設計を採用、1窓最短60分のスピード施工実現

【商品構成】■新商品——◆戸建住宅用「リフォームシャッター」：昨年7月から従来の新築用と共通の構造をリフォーム専用仕様にフルモデルチェンジして全国発売した。「リクシル PATTO リフォーム」の対象商品として、新設計は下地部材の取り付けやネジ隠しカバーの取り付けなどの工程を省くことで、従来の3分の1となる1窓あたり最短60分のスピード施工を実現した。電動アルミ窓シャッター「エアリス」、スタンダードクラスの鋼板窓シャッター「イタリヤ」、耐風アルミ窓シャッター「クワトロ」の3シリーズに展開した。

■商品体系——◆住宅用窓シャッター「エアリス マルチ電動」：スリット型とブラインド型を融合した新構造の「フラップスラット」を採用した業界初の住宅用電動窓シャッター。「フラップスラット」は、羽根を開閉させることで、直射日光を遮りプライバシーを守りつつ、風と光を採りこむことができ、高い省エネ効果が得られる。ワンタッチで開く「採風ボタン」、1つのリモコンで複数台操作が可能な「チャンネルボタン」、自動開閉の「タイマーボタン」などを標準装備する。

◆鋼板窓シャッター「イタリヤ」（ボックス3タイプ。マルチ電動・リモコン電動・手動の各タイプ）／「イタリヤEZ」（操作棒をブラインド感覚で操作開閉できる簡易電動窓シャッター）／「イタリヤミニ」（小窓専用窓シャッター）。

◆耐風アルミ窓シャッター「クワトロ」（手動タイプボックス2タイプ。特長は自動施錠・ソフトストップ

機構・マグネット付き操作ひも・左右操作可能な解錠レバー等)。

◆「シャッター付引違い窓」サーモス X /サーモス II-H /サーモス L /シンフォニーウッディ・マイルド/デュオPGなどの各シリーズ。

【現況】住宅用窓シャッターと横引雨戸の販売比率は80%強対20%弱と、窓シャッターが増加傾向にある。横引雨戸(雨戸一筋・単体雨戸)は、リフォーム需要がおよそ半数を占め、新築住宅向けの減少がつづいている。

主力商品の窓シャッターは、シャッター一体枠タイプ8割、リフォーム向けを含む後付タイプが2割の比率。このリフォーム需要を喚起するために、「リクシル PATTO リフォーム」に対応する1窓最短60分のスピード施工を可能にした新設計「リフォームシャッター」の拡販に力を注いでいる。

同時に、高機能商品「エアリス マルチ電動」をはじめとした電動タイプの拡大、さらには4月発売予定の住まいのリンクシステム「住まいのIoT」対応窓シャッターの投入などで、現在販売全体の10%程度の電動窓シャッターの更なる拡大をめざしている。

YKK AP

「かんたんプチリモ」取替シャッター、約2時間で手動シャッターをリモコンシャッターへ簡単に交換

【商品構成】■新商品—◆「かんたんプチリモ」取替シャッター：YKK AP製商品に特化した簡単に取り替えることができるリフォーム商品「かんたんプチリモ」の第1弾商品。2000年発売のシャッターウィンドウ「NFS」以降の全11商品を、リモコンスリットシャッター、リモコンシャッター、手動シャッターへの取替えが可能。手動シャッターからリモコンシャッターへのリフォームは、既設枠をそのまま残し、シャッター本体・ガイドレール・点検板(シャッターボックスカバー)のみの取替工事(約2時間)。

■「ウィンドウシャッター」商品体系—◆リモコン外付ブラインド「X-BLIND(エクスブラインド)」:2020年省エネルギー基準適合義務化やZEHの普及に対応し、採光・日射遮蔽、採風のコントロール機能をもつ窓シャッターの最上位機種。ルーバー角度を90度に設定することで、日射熱を85%カットし夏場の冷房効果をアップ、さらい換気量94.3%を

YKK AP「かんたんプチリモ」取替シャッター、手動タイプをリモコン電動タイプに簡単に取り換えられる



確保できる。リフォームにも対応する。

◆「リモコンスリットシャッター」:アルミ製スラット採用の電動スリットシャッター。一体枠仕様・分割枠タイプを用意。◆「リモコンシャッター」:スチール製スラット採用の電動シャッター。一体枠仕様・分割枠タイプ。◆「手動シャッター」:スチール製の一般窓シャッター。一体枠仕様・分割枠タイプ。標準・耐風圧・防犯の各タイプ。

【現況】住宅用窓シャッターは、リモコンスリットシャッター、リモコンシャッター、手動シャッターの3商品体系に再編された。どのシリーズも一体枠仕様・分割枠タイプを用意し、新築・リフォームに対応できる。また、電動タイプはすべてリモコン操作を標準仕様。オプションで一斉操作、グループ操作、タイマー操作も用意。

窓シャッターと横引雨戸は90対10の販売比率で、横引雨戸(通風・断熱・スチールタイプ)の縮小傾向がつづいている。ただ、今後も横引雨戸のリフォーム、取替え需要への対応が求められるとの見方。そのリフォーム向け販売比率は、窓シャッター10%、横引雨戸6%と、更なる需要の掘りおこしに取り組む。

ウィンドウシャッターは、都市圏の防犯・防火対策、九州圏などの台風通過地域で採用されるケースがおおい。商品的には、一体枠タイプ90%、後付タイプ10%の比率。1棟あたりの平均採用数は2~3セット程度で、1階リビング、居室への採用がおおい。

高付加価値化のテーマである電動タイプは販売全体の15%と増加傾向にある。また、上位機種のスリット型とブラインド型は、販売全体の1%未満にとどまっている。通風・採光のコントロールによる省エネ効果・快適性、さらにはプライバシー保持といった優れた機能を、周知、認知度アップのプロモーションを強めていく。

四国化成工業

街の美観を護るシコクのごみ集積庫「ゴミストッカー」、大型集合施設向けの大容量タイプから戸建住宅向けのコンパクトタイプまで、圧倒的な収納バリエーション



■ごみ集積庫「ゴミストッカー」—街の美観を維持する定番商品に成長したシコクのごみ集積庫「ゴミストッカー」。マンションやアパート、ビルや商業施設など多くの人が生活する場所から発生する大量のゴミをカラスから護り、悪臭の発生を抑える「ゴミストッカー」の圧倒的なバリエーションが特長。

大型集合施設に最適な45ℓ袋380個の大容量タイプから戸建住宅向けの45ℓ袋4個のコンパクトタイプまで、様々な生活シーンに対応する収納バリエーションを揃える。

建物や景観と調和するデザイン性が「ゴミストッカー」の人気の理由のひとつ。耐久性に優れ、錆びにもつよいアルミ素材を使用し、汚れ落としも簡単にできることも特長。

高意匠で使い勝手が良く、耐積雪100cm相当まで対応可能なスタイリッシュな「パンチングメタル扉タイプ」や、景観にやさしい木の風合いの「木質樹脂タイプ」、スチール製の「メッシュタイプ」など、様々な生活シーンを想定したきめ細かな商品バリエーションを展開する。

三協立山

ハイスペックサッシ「アルジオ」、高断熱性と強靱性を両立、フラットレール採用

■環境商品—◆ハイスペックサッシ「アルジオ/防火窓アルジオ」(アルミ樹脂複合): 堅すべり出し窓+FIX窓(3-A r 16-Low-E 3)の断熱性能1.86W/(㎡K)、耐風圧性能S-4、水密性能W-5と、高断熱性とビルサッシ並みの強靱性を両立。フラットレール、どこでも引き手、全面網戸など、充実した機能も特長。◆高断熱樹脂窓「トリプルスマージュ」: Low-E 3-Kr10-3-Kr10・Low-E 3の標準設定で、業界トップクラスの断熱性能0.86W/(㎡K)を実現/「スマージュ」: 3-A r16-Low-E 3の標準設定。



電気も電池も使用しない1配達に1捺印のみの戸建住宅配ボックス

■宅配ボックス「フレムス」—環境省の「COOL CHOICE」でできるだけ1回で受け取りませんかキャンペーン」に賛同する戸建住宅向け宅配ボックス。周囲にとけこむ親和性の高いデザインが特長。電気も電池も使用しない1配達に1捺印のみのいたずら防止機能の設定。最大20kgまで投函可能。

本体を重ね合わせるコンパクト収納構造の大型引戸「スタックライン SA/NA」

■大型引戸「スタックライン SA/NA」—医療・商業施設・ビルなどの大型施設出入りに最適な大型引戸シリーズ。アルミ型材製の軽量構造で、本体を重ね合わせるコンパクトな収納構造がセールスポイント。

有効開口3.0mから両引き30m、高さ1.2mから1.8mに対応し、パネルデザイン5種類、電動タイプも用意する「SAシリーズ」。有効開口3.0mから18m、高さ1.2mから1.8mに対応し、パネルデザイン5種類、セキュリティに配慮した電気錠を用意する先端部にレールのない「NAシリーズ」。

ブロックでもフェンスでもない安全に配慮したファサード外構商品

■「アートウォール seed/アートウォール modern」—ブロックでもフェンスでもない安全性に配慮した新たな外構商品として提案・浸透を強める。「アートウォール seed」に、塗り壁仕上げ・吹付け仕上げ(パレットHG)標準76色、樹脂シート、石材シート、タイルを用意。「アートウォール modern」は、アルミパネルの12パターン、木質樹脂の8パターン、サイディング8種類を用意。





三協立山

MTG-70R ベースに改装用すべり出し窓・内倒し窓「HOOK SLIM (ノンシール工法)」発売

■集合住宅用改装商品—  
◆改装用すべり出し窓・内倒し窓「HOOK SLIM (ノンシール工法)」: 基幹商品の MTG-70R をベースに刷新。ノンシール工法により、工期短縮、工事中の入居者の負担を軽減できる点が特長。空気層 12mm 複層ガラスに対応し高断熱性能を発揮する。◆改装用引違い窓「HOOK SLIM」: 居住性・省エネ・ローコストで住まいのグレードアップを実現する改装用サッシ (カバー工法)。

■ビル用基幹サッシ「MTG-70R」: 昨年 6 月 MTG-70 を刷新。業界初の新機構を搭載した採風ドアやお掃除モード付すべり出し窓などをラインアップ。第 11 回キッズデザイン賞、2017 年度グッドデザイン賞を受賞。

■改装用外装材「ロフスパネル」: 芯材に樹脂を採用した省エネ効果のあるアルミ樹脂複合板パネル (フッ素樹脂焼付塗装)。メタリックな質感と滑らかでシャープな意匠が特長。■「太陽電池一体型目隠しルーバー」: ルーバーに太陽光発電機能を付加。たて型タイプ・横型タイプ。■改装用外装材「外壁改修用スパンドレル」: 経年変化にともなうタイル落下防止、外観リファインに対応。遮熱型フッ素樹脂塗装を標準設定。たて基調のフラット・角波・櫛型の 3 タイプ。

寺岡オートドア

通信機能内蔵の新型自動ドア「YCB-DCR-N1」  
拡販、CAN ネットワークで機器同士を監視し合い、  
トラブルを未然に防ぐ機能を備えた新型自動ドア

CAN プロトコルを採用した自動ドア構成機器の  
相互通信機能を備えた自動ドアです。



■通信機能内蔵の新型自動ドア「YCB-DCR-N1」シリーズ—高い耐ノイズ性能のある CAN ネットワークにより各機器同士が互いに監視し合い、安全な動作でトラブルを未然に防ぐ機能を備えた、「JIS A 4722」(歩行者用自動ドアセット—安全性) に対応する新型自動ドア。

CAN プロトコル採用の自動ドア機器は、自動ドアコントローラ「YCB-DCR-N1」(省スペース化を実現) と、CAN ネットワーク対応の「センサー」(細やかなモード設定が専用端末から操作可能)、同じく「電気錠サブコントローラ」・「結線入力サブコントローラ」・「入出力サブコントローラ」等で構成する。各機器の接続には、施工性に優れた CAN 接続ハーネスを採用。

これらの相互通信機能を備えた構成機器が、それぞれの動作を監視・確認し、万が一、どこかに不具合が検出された場合には、自動ドアの開閉動作を止める機能を備えた、安全・安心の最新の自動ドアシステム。

多機能トイレ用自動ドアスイッチ  
「MFS-1」4ヶ国音声版/多言語  
音声案内システムを搭載

■多機能トイレ用自動ドアスイッチ「MFS-1」4ヶ国音声版/多言語音声案内システム「VNIN」(台板内蔵型)・「VNIS」(壁面外付けBOX型)—一人に優しいデザイン性と、使いやすく分かりやすい機能性を融合した新しい形の多機能トイレ用パネルスイッチ「MFS-1」に、多言語音声ガイダンス機能を付加した最新の多機能トイレ用自動ドアスイッチ。空港や鉄道・バスターミナル駅を主な対象に提案・受注活動を強化している。

従来のパネル部 LED の発光・音による使用可能状態→使用開始→使用中→使用終了→使用後ドア閉鎖までの一連の動作確認機能に、多機能コントローラに接続された「VNIN」・「VNIS」から、日本語・英語・中国語・韓国語の「音声ガイダンス」が、語間 3 秒間隔で流れる機能を追加したもので、トイレ未使用状態やドアの開閉、緊急時などの対応がアナウンスされる。

LIXIL

低層部から 5 階まで  
同一のデザインでカ  
バー「MLシリーズ」



■中低層用カーテンウォール/フロントサッシ「MLシリーズ」—店舗を含め非居住建築物の低層部から 5 階中層部まで同一シリーズでカバーする。

Mタイプ (中層) CW仕様: 耐風圧性能 S-4 (2000 Pa)・気密性能 A-4・水密性能 1000 Pa。Lタイプ (低層) CW仕様・フロント仕様: 耐風圧性能 S-3 (1600 Pa)・気密性能 A-4・水密性能 W-5 (500 Pa)。

組込み品種バリエーション: FIX、たてすべり出し、外開き・内開き、たて軸回転、排煙突き出し・外倒し・内倒しの各窓種、ガラリ、スリム排煙外倒し窓等。エントランスにスリムオートドア、スリムフロアヒンジドアを品揃え。ビルサッシ「PRO-SE」の組込みも可能。

新開発の「スリム排煙外倒し窓」は、新設計の無目枠と一体化したバーヒンジ構造の採用でスリム化、オペレーターやガスダンパーを枠内に内蔵してノイズレス化を図り、FIX窓のような外観を実現している。

また、Lタイプには、新開発の「ガラス溝乾式止水ピース」による止水構造にすることで、加工・組立・養生基幹を大幅に短縮した。

ナブテスコ(株)住環境カンパニー

業界最高峰の安全性を備えた未来標準の自動ドア  
「NATRUS」発売、引き戸シリーズなど主力  
シリーズを順次、「NATRUS」モデルへ転換

■安全性を追求した未来標準の自動ドア「NATRUS (ナトラス)」—10 年ぶりに自動ドア駆動装置をフルモデルチェンジし、国際水準の安全規格「JIS A 4722」対応製品として、昨年 10 月から「NATRUS 引き戸シリーズ」の発売を開始した。

「NATRUS」は、NABCO が 60 年にわたって積み重ねてきた先進技術と高品質なアフターサービスによって、「すべての人にやさしい自動ドア (だれでもドア)」の実現をめざして開発された業界最高峰の安全性を備えた自動ドア。

10 月発売の「引き戸シリーズ」につづき、「二重引き戸」、「円形引き戸」、「SOA」(気密ドア)、「NAT ドア」(気密・遮音ドア)を「NATRUS」へ切り替えるなど、NABCO 自動ドアの主力シリーズとして、「NATRUS」へのモデルチェンジを進めている。さらに 4 月から、新たに「NATRUS 交換キット」を発売し、既存自動ドアの「NATRUS」への改修ニーズにも対応する。

「NATRUS」は、CAN 通信を使用した NABCO ネットシステムによる優れた自己診断機能を保持していることが特長。リアルタイムでの相互監視機能により自動ドア装置自身が常に異常がないかを監視しているため、トラブルが発生してもすぐに発見し、安全に作動し事故を未然に防ぐ機能が盛り込まれている。

自動ドア装置自身が 1 開閉ごと

にチェックする機能などの「安全対策」、ドア開閉速度・開放時間などの細かい作動設定や、通行に不要なセンサー範囲を無効にして無駄な開閉を減らすことによる「省エネ対策」、さらには樹脂焼付を施した戸車の採用による「耐久性」「静音性」の向上や、「耐脱輪性」の向上により、万が一、人やモノが自動ドアへ衝突した際の安全性にも配慮した設計が特長。



最新建築トレンドにフィットする  
洗練されたデザインの  
セキュリティゲート「スピード  
レーン・ライフライン・シリーズ」

■セキュリティゲート「スピードレーン・ライフライン・シリーズ」—直感的でわかりやすく洗練されたデザインと、スペース効率を極めたコンパクトなボディが大きなセールスポイント。

「スライド」「スイング」「オープン」の 3 モデルと様々なシチュエーションにフィットする豊富なカラーバリエーションでカスタマイズすることでエントランスをエレガントに演出。各モデルの設置や配列、各種ドアウイングを自由に組み合わせることができる。今回新たにイルミネーションによる誘導機能やスリーブ機能などを搭載し、使いやすさも追求している。



ナブコシステム

10年ぶりにフルモデルチェンジした  
新型自動ドア装置「NATRUS」を発売

■業界最高峰の安全性を備えた自動ドア「NATRUS(ナトラス)」——「NATRUS」は、自動ドアの通行者の安全を第一に配慮したナブコの先進技術にもとづく自動ドア駆動装置と、業界随一の施工・メンテナンスの高品質なアフターサービス体制に支えられている。

昨年10月の発売以来、「NABCO自動ドア」主力シリーズの「NATRUS」へのモデルチェンジを進め、着実に実績を積み上げている。

尚、「NATRUS」は昨年3月に制定された「JIS A 4722」に対応した自動ドア装置である。

高速高頻度型ゲート「スパイラルドアゲートシステム」、  
高度なセキュリティレベルと  
安全性を兼ね備えた最先端の  
駐車場ゲートシステム

■高速高頻度型ゲート「スパイラルドアゲートシステム」——今までにない高度なセキュリティレベルの実現と、歩行者や自転車の安全性を確保した最先端の駐車場ゲートシステム。

堅牢さとスピードを兼ね備えたアルミ複層パネルドアを採用。磨耗を最小限に抑え最高の開閉速度(最高開スピード1.5m/秒)と高耐久性(実質15万回開閉/年間)を実現。

また、ドイツの厳しいレギュレーションに合格した自己監視機能付き補助センサー(グリッドセン

サー)を標準装備した最先端の安全システムを採用。コンソール形状は、ラウンドスパイラルSST-R、スパイラルSST、オーバーヘッドSSNの3通りを用意。使用者を限定することができる無線認証システム(らく2パス)はコントローラー1台で最大512個の携帯機(幅38×高さ71×厚さ15mm)の登録可能。512個を超える場合もサーバー接続によりシステム構築ができる。



気候に合わせてガラススクリーンの高さを変えて快適な空間を創造

■上下式手動スクリーン「Café au La(カフェオレ)」——その時々気候に合わせてガラススクリーンの高さを自由に変えられるという発想から生まれたデザイン性、眺望性に優れたこれまでなかったエクステリア商品。寒風が吹く季節でもレストラン・カフェの屋外テラス席で快適にくつろぐことを可能にする。また、「カフェオレ」の設置でパラソルヒーターを必要最小限にできるため、客席数やテーブルレイアウトも自由自在になる使い勝手の良さが特長。

YKK AP

ビル用窓の高断熱化を  
推進する高性能樹脂窓  
「EXIMA37」「EXIMA77」新発売



■ビル用樹脂窓「EXIMA37」「EXIMA77」——急増するホテルや医療福祉施設などビル用窓の高断熱化を実現する断熱性能H-6(熱貫流率1.90以下)の高性能樹脂窓を、ビル用基幹商品の「EXIMA」シリーズにラインアップ。

バリエーションは、プロジェクト系窓の「EXIMA37」にFIX窓、たてすべり出し窓、外開き窓、外倒し窓、かまちドア。スライディング系窓の「EXIMA77」に引違い窓、片引き窓、両袖片引き窓を用意。

雨水抑制機能を備え、自然換気で省エネ効果を発揮  
「EXIMA31サイドパス」

■ビル用縦型自然換気窓「EXIMA31サイドパス」——雨水抑制機能を備え、雨天時でも換気できることが特長。2020年までに新築公共建築物(学校)で進められているZEB化の省エネ対策に有効な自然換気窓。

換気量の確保に特化した「V仕様」と、自然換気と雨水侵入抑制機能を備える「RV仕様」(特許出願中)の2種類を設定。

三協アルミ

店舗用建材「STフロント」のオートドア・排煙外倒し窓・排煙内倒し窓に空気層12mm複層ガラス対応「ガラス溝幅35mmタイプ」追加

三協立山株式会社・三協アルミ社(中野敬司社長)は、店舗用建材「STフロント」シリーズのバリエーションを強化した。2020年省エネ基準義務化にともないニーズが高まっている複層ガラス仕様に対応するもの。



特長は、オートドア・排煙外倒し窓・排煙内倒し窓に、空気層12mm複層ガラスに対応する「ガラス溝幅35mmタイプ」をラインアップ。これによりオートドアは、溝幅&アタッチメントを使っていた販工店の加工負担を軽減することができる。また、オートドアの構造を改良し、上かまちを隠し框として、スッキリしたデザインにした。

また、排煙外倒し窓・排煙内倒し窓の障子(可動部)端部にキャップを取り付けて安全性・意匠性を高めた。さらに、部材の共有化を図り、販工店の部材在庫を最小限に抑えている。

文化シャッター

耐熱合わせガラス入り特定防火設備「エリファイトプラス」(スチール製FIX窓の横長・縦長)を新発売

文化シャッター(潮崎敏彦社長)は、耐熱合わせガラス入り特定防火設備「エリファイトプラス」(スチール製FIX窓)を11月11日新発売した。



特長は、高い衝撃安全性に優れた厚さ8.6mmの耐熱合わせガラス「ファイアライトプラス」(ガラス厚10.6mmにも対応)を採用したFIX窓。バリエーションは、「エリファイトプラス-X」(横長タイプ)の単窓FIX・2連窓FIX・3連窓FIX(最大間口2400×最大高さ1200mm)と、「エリファイトプラス-Y」(縦長タイプ)の単窓FIX・2連窓FIX・3連窓FIX(最大間口1200×最大高さ2400mm)。また枠形状は、高い意匠性を必要とする建物向け

の「つぶし枠」や「フラットバー枠」、食品工場や精密機器工場のクリーンルームに埃が溜まりにくい「勾配下枠」などの豊富なバリエーション。参考価格:エリファイトプラス-X(横長タイプ)の間口2400×高さ1200mm、ガラス厚8.6mm仕様で103万5000円。

日本サッシ協会／カーテンウォール・防火開口部協会

国推奨の良い住宅・良い建物に対して、いかにサッシが貢献することができるかがポイント——白井理事長



白井春雄理事長

日本サッシ協会／カーテンウォール・防火開口部協会は1月19日、東京・明治記念館で「平成30年賀詞交換会」を開催した。

冒頭、白井春雄理事長・会

長は、「将来的な需要が不透明な市場の動きを見据えた活動を行なっていかなければなりません。まずは製品の高付加価値化、ストック住宅に対するリフォーム市場の開拓を行ない、マーケットの維持、拡大が必要です。国が推奨する良い住宅・良い建物に対して、いかにサッシが貢献することができるかがポイントになります。

「良い住宅、建物の一つとして高い省エネ性があげられます。業界としても冷暖房エネルギーの軽減、快適な環境作りに向けて、どのような貢献ができるかを求められているものと考えます。平成28年度の日本サッシ協会の戸建新築住宅サンプリング調査では、アルミ樹脂複合サッシの設置割合がアルミサッシをついに上まわりました。樹脂サッシを加えると、新築戸建住宅では6割に迫る割合で高断熱サッシが採用されていることとなります。この勢いはさらに進むと思われます。

「また、新たな技術として、住宅や建物にもICTやAIが活用されてくることが予測されます。国は我が国の産業がめざす姿として、コネクテッドインダストリーズを推奨されています。住宅のIoT化やビッグデータの活用、AIを利用した情報分析による高度なサービスの提供が可能になります。業界としても、ものづくりへの活用のほか、ご使用いただく皆様にとって新たな技術がもたらす恩恵として、今までにない快適な生活環境を提供できる業界へと成長していきたい。

「これらのことは新築に限らず、ご使用されている住宅や建物についても、より良いものにリニュー



アルする市場の拡大にむけた活動も必要です。そのほかにも、防火、防犯、安全も含めた高付加価値品の普及も併せて考えていかなければなりません。省エネと共存するとともに、ともに普及を進めることが重要です。さらに、建築物が首都圏に集中する傾向については、スチールドア等を製作する専門メーカーを含めた合理的な供給対応の検討が必要になるとともに、契約適正化の推進、社会保険の加入促進、施工技能者の育成など、取り組むべきテーマは多くあります。併せまして、各企業として働き方改革への対応も求められています」と挨拶した。

### 全国自動ドア協会

JIS準拠の安全ガイドラインを関係業界に案内、より安全な自動ドアの普及をはかる——上仲会長

全国自動ドア協会は1月18日、東京・メルパルク東京で「2018年新春賀詞交換会」を開催した。



上仲宏二会長

上仲宏二会長は、「昨年は地政学的リスクが高まりました。このリスクが日本経済に暗い陰を落とすのではないかと懸念されています。さらに、大企業が検査データを改ざんしたり、検査資格のない人が検査したりといった不祥事も起きています。こういったことは、日本の企業の信頼性を損なう結果になっていると思います。当協会を管轄している経済産業省製造産業局生活製品課の年始のあいさつに、コネクテッドインダストリーズ、つまり業界、企業、機械、人をつなげることによって、新しい価値創造と生産性向上を行なうことをコンセプトに、協調をテーマに産業界を盛り上げていこうとしています。経済産業省が産業界に求めているのは、スピードあるアクション、個性のある経営、もうひとつは大胆な挑戦です。「その意味でも、昨年3月22日、自動ドアの安全規格JISA 4722、歩行者用自動ドアセット—安全性が制定されました。これは我々のスピーディな動きと大胆な挑戦があったからだと思っています。JISは自動ドア開閉装置だけではなくて、サッシ、ドアなど周辺全般の安全性を求めるものですから、当協会が作成したJIS準拠の安全ガイドラインをお客さま、関係業界へご案内して、より安全な自動ドアを世の中に普及していくことが我々協会の使命

とっております。

「また、自動ドアの建築現場は、昼夜を問わず作業します、工程もしょっちゅう変わります、さらに人材も不足していることで、施工現場は非常に厳しい環境に置かれています。だからこそ我々協会は歩行者の安全性だけではなくて、施工現場の安全、さらには社員の皆さんの健康管理に努めることが会社の責務と考えております」と挨拶した。

### 日本シャッター・ドア協会

シャッター・ドア技能士の国家資格検定制度、浸水防止用設備のJIS化に注力——木下会長

日本シャッター・ドア協会は1月12日、東京・グランドアーク半蔵門で「平成30年新年賀詞交換会」を開催した。



木下和彦会長

冒頭、木下和彦会長は、「今年の建設市場はオリンピック需要、インバウンドの急増によるホテル需要もあり、穏やかな回復基調がつづくことを確信しています。こうした中で当協会は3つの事業に取り組んでいます。一つ目として、防火設備検査報告制度は2年目を迎え、検査対象件数が大幅に増大しています。日本建築防災協会から実技講習を受託し、7300名が全国で受講され、JSDA資格者4700名を加えると1万2000名の方が資格者となりました。本年1月から2月には新たに1700名が資格者となる予定です。法改正の趣旨に沿って防火設備の安全性を確保し、検査報告を的確に実施されるよう協会として取り組んでおります。

「2つ目は、現在新規シャッター、ドアなどの施工技能者が対象となる技能検定制度の導入を目指して準備を進めております。国家検定制度で合格すれば「技能士」と名乗ることができます。このことが施工技術者の地位向上、ひいては人手不足の解消にもつながる事となります。

「3つ目は、防災事業の一環として浸水防止用設備についての基準作成に取り組んでおります。協会として昨年12月JIS原案作成のための委員会を設置し、浸水防止用設備のJIS化を進めてまいりました。本年も引き続き、国土交通省における「水災害に関する防災・減災対策本部会議」等の進展を踏まえ、浸水防止用設備の基準づくりに関する検討を深め普及に努めていきます」とあいさつした。

### 三協アルミ

「学生デザインコンペ」、最優秀賞作品名「環境をハンティングしていくまち」田村聖輝氏ら15名を表彰

三協立山株式会社・三協アルミ社(中野敬司社長)は、昨年12月14日、高岡市・ホテルニューオータニ高岡で、「未来のとびらコンテスト2017<大学生版>」第3回学生デザインコンペの最終審査会ならびに表彰式を開催した。



最終審査会では、応募総数66作品の中から1時審査を通過した8作品(15)の制作者プレゼンテーションが行われ、最優秀賞1作品、優秀賞3作品、特別賞4作品、三協アルミ賞1作品(ダブル受賞)を決定、表彰した。

最優秀賞は、作品名「環境をハンティングしていくまち」、田村聖輝氏(横浜国立大学大学院)が受賞した。田村氏は、私にとってずっといたくなるまちは、人の日常的なふるまいとつながるまちです。横浜の木蜜では高密度居住と地型の住み方に対して住民の暮らしのアイデアがたくさん詰まっています。私はこのふるまいを環境のハントと捉えました。昨今の木蜜ではまちの更新に対する提案が求められています。木蜜をマクロな視点で見ると道路によって一つの共同体のようなものが見えてきます。「まちの環境」をハンティングし戦略的な更新によって減災と、領域的に周辺を巻き込む事で、より活動的な家と戸折りを提案しますとプレゼンした。

### YKK

「パッシブタウン第3期街区K棟」日本初のLEED for Homesの最高ランク「プラチナ認証」を取得

YKK不動産(吉田忠裕社長)が建設を進めていた富山県黒部市の「パッシブタウン第3期街区K棟」(設計:森みわ氏)が、日本で初めてLEED

for Homesの最高ランク「プラチナ認証」を取得した。



LEEDは、米国グリーンビルディング協会が開発・運用する環境配慮建築やエリア開発の認証システムのこと。加点方式で得点に応じてCertified、Silver、Gold、Platinumの4段階に分類。今回、パッシブタウン第3期街区K棟は、敷地、水、エネルギーの各項目において高得点を取得、プラチナ認証につながった。

特徴・評価ポイント——①敷地は、既存の住宅を活用したリノベーションモデル。地場の生態系に即した外構緑化、屋上緑化と憩いのスペースの確保している。②水は、節水型衛生器具(3.8L床置大便器、シャワー、洗面水栓)の採用、地域の特性に基づいたランドスケープ計画。③エネルギーは、パッシブハウス基準の高性能外皮(高气密・高断熱)性能による空調負荷削減、高効率全熱交換器の採用。④資材は、既存建物の積極的利用(ライフサイクルコスト配慮)、地場産材の使用、建設廃棄物の管理。⑤室内環境は、汚染物質を残さない内装工事管理、換気設備のコミショニング。

### 積水化学工業

独自技術PET超延伸シートを芯材とした高強度な住宅用の新雨とい「超芯 LEVOL(レボル)」を新発売

積水化学工業株式会社の環境・ライフラインカンパニー(久保肇プレジデント)は、独自技術のPET超延伸シートを芯材とした、伸縮が小さく、高強度な住宅用新雨とい「超芯 LEVOL(レボル)」を新発売した。

特長は、装飾的な要素を最小限に切り詰めたシンプルなフォルム。軒といの出幅寸法を最低限(113mm)まで抑えながら深さ(115mm)を持たせることで排水量を確保。表層に高耐候性特殊樹脂を被膜し、紫外線などによる褐色化を抑え、施工当初の美しさを維持。アルミ製雨といや、樹脂と金属を複合した雨といと同等の伸縮性を有し、20mまで伸縮処理部材が不要となり取り付け部品数を削減できる。オール樹脂製で軽量、切断性に優れ、現場の負荷を低減する。